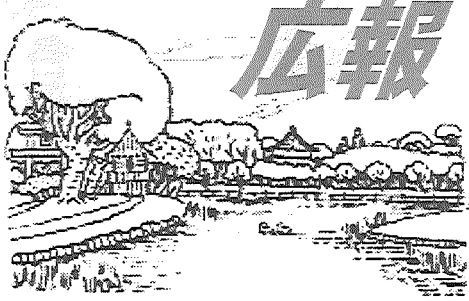




広報

おゆみ

第48号

平成24年5月19日

発行：町内総務部

生実町会館 ☎ 268-1946

生実町ホームページ

<http://www.oyumi.com>

~~~~~伝統と創造のまち~~~~~

平成24年度町内行事スタート!!



会長 長 久
会 山 内

新緑の季節を迎え、町内の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度、二期目になりますが、会長の重責を受けました。微力ではございますが、一年間「安心、安全、住みよい街づくり」を目指して役員一同、「迅速な対応」を心がけ頑張りますので宜しくお願い致します。

昨年は東日本大震災により多くの犠牲者を出し我々にも大きな教訓を残しました。三月十一日に行われた避難訓練には多くの町民の参加があり一日も早く災害時の避難体制の充実を図らなければいけないと痛感するところでございます。

去る四月二十一日定期総会において今年度事業・予算が承認され、今年度、防災関係については①町並み通りにあった火の見やぐらの撤去が終わり、同所に災害発生時のサイレン設備を設置②避難マップの作成③防災倉庫内の備蓄品の確保等充実を図っていきます。

環境整備においては以前より要望をあげております案件（十二箇所）が棚上げ状態ですので引き続き強く行政に要望をあげていきます。

また、先輩方の築いた生実町の伝統・文化を守り「地域のふれあい」を目的として行われる三大行事である町民体育祭、盆踊り花火大会、秋の祭礼行事は、町民全員参加意識を持って盛大に開催したいと考えておりますのでぜひご参加をお願い致します。

詳細については各担当より当紙面に記事がございますのでご覧ください。

最後に町会において諸問題はたくさんありますが、今年度、約1640世帯の町民の皆様が安心して楽しく暮らせるよう役員一同一つずつ取り組んでいきますのでご指導・ご協力をお願いし、新年度スタートの挨拶とさせていただきます。

副会長 長谷川 功

昨年度に引き続き、副会長を任命されました。よろしくお願い致します。

今年の三月十一日に、初めて生浜地区全体での防災訓練が実施されました。午前中は、各町内・自治会単位での訓練、そして午後からは、地区全体が生浜中学校に集まる訓練となりました。訓練参加者は生浜地区全体で、約1600人、その中で生実町の参加者は500人を越え全体の約3分の1を占め、生浜地区の中でも生実町の皆さんの防災に対する意識の高さを再確認することができました。これも会員皆様のご協力によるものと感謝いたしております。

また、四月二十一日の総会で要望がありました、都市計画道路・松ヶ丘く古市場線の早期着工、通学児童の安全の為に時間帯道路交通規制それに合わせ、都市計画道路・塩田く菅田線の早期着工、生実池環境整備そして、道路舗装・補修及び歩道拡張・側溝整備等々を行政に要望し、安心・安全で住みよい町づくりの為に、内山会長を補佐し、頑張つてまいりますので、町内会に対して会員皆様のさらなる、ご理解・ご協力をお願い致します。

自助・互助・公助の町づくり
昨年三月十一日に発生した東日本大震災は、我が国の観測史上類をみない規模の大震災となり、千葉県内でも大きな被害を受けました。

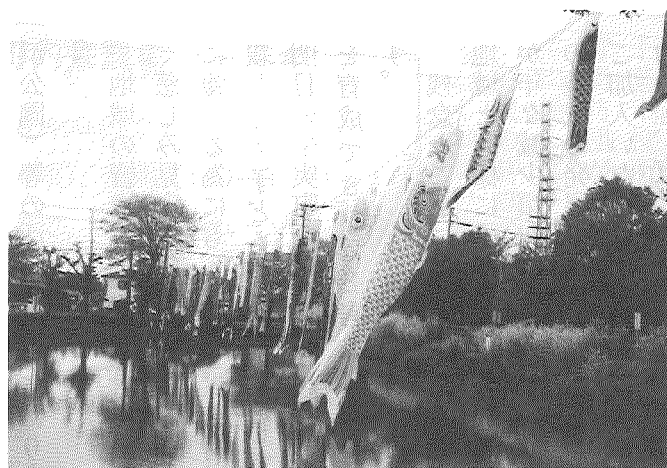
副会長 丸嶋 義雄

この震災で「地域（町民）の力」の重要性が一段と明らかになりました。生実町でも震災の教訓を風化させないためにも、町内会活動の中で町民の皆さんの災害意識の啓発と被災地の支援活動をつづけたいと思います。

私は町民の皆さんから広く意見を伺い、それを町内会活動に反映していくことが生実町の町づくりに変えていく重要なことだと考えております。

明るい希望が満ち、その生実町が未来に輝き、若い力で溢れる町

として発展するよう取り組んでいきます。生実町町会活動にご支援と協力を心からお願ひ申し上げます。



各部長からの メッセージ

総務・会計部

部長 中村洋一

青葉が目眩しい今日この頃、会員の皆様におかれましてはご健勝の事とお慶び申し上げます。

会長任期に伴う選考の際には、多くの会員の皆様からのご協力・ご意見等を頂き誠にありがとうございました。内山会長再任でスタートした平成24年度の総会も終わり、引続き総務・会計部長を務めさせて頂く事となりました。これから、ご指導・ご協力の程宜しくお願い致します。

例年取り組んでおります会館の修繕は、本年度はエアコンの交換を行わせて頂きます。他にもご要望等がございましたらお知らせ下さい。

本年度も、町内会員の皆様、一人でも多く、町内会行事にご参加下さいます様お願い申し上げます。

環境部

部長 佐藤 薫

新緑が風に薫る中、会員の皆様には日頃町内活動にご理解、ご協力をいただき大変ありがとうございます。

今年度、環境部長を任命され「き

れいな町、生実町」を目標に環境部一丸となって働きたいと思えます。まずは、町内から千葉市に申請してある工事関係の一つずつ担当部署と話し合いをしながら片付けていきたいと思えます。

又、ゴミステーションへのゴミ出しの時間を前日ではなく、当日の朝に徹底していくなど生実町の美化活動に力を入れていきたいと思えますので皆様のご協力をお願い致します。

防災防犯部

部長 仲居 一彦

町内会会員の皆様におかれましては、ご健勝の事とお慶び申し上げます。

今年度、内山会長の二期目にあたり、防災防犯部長に任命されました。

昨年の大震災後、毎日のように関東を中心とした震災が報道等で心配されており、改めて役職の重さを痛感しております。

万が一の場合に備え町会役員、各組長様、各諸団体の皆様と協力しあい、安全確保の為に努力していきたいと思えます。

又、防犯に関しまして、生実町の皆様、安心して暮らせる様に、青パト防犯パトロールを強化し、犯罪を未然に防いでいく様、防災防犯部として、尽力していきたいと思えますので、会員の皆様より一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

文教体育部

部長 増田 文夫

今年度より、内山会長より文教体育部部長に任命されました。

文教体育部の活動は、春季町内会体育祭、盆踊り花火大会、生実神社例大祭そして、生浜地区体育祭の行事を受け持つ部です。

文教体育部は各行事を催し、会長の指導の下『安心して楽しく住める町づくり』を目指します。

まず町民の皆様の行事への参加が欠かせません。参加しやすい環境づくりに努力いたします。

文教体育部は新任ですが、組長をはじめ皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

青年会

会長 木浪 賢一

風薫る新緑の候、町内会会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

又、日頃より青年会活動に対し、ご理解、ご協力を頂きまして誠に有難う御座います。

青年会に入会して早、十一年目になり、今年度より会長に就任する事になりました。

町内の皆様方に生実町に住んでいて良かった、生実町に引越して来て良かった。と言ってもらえるよう、町内会や各諸団体の皆様方

と協力をしていきます。『会員一同、一丸となって邁進して参ります。』

今後とも、青年会活動に対し、ご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

婦人会

会長 中村 しめ

私達婦人は各種団体の方々と共に、春は町内会体育祭、夏は盆踊り花火大会、秋祭り、生浜地区体育祭と、町会の諸行事に主婦パワーを発揮し、お手伝いしております。今年度の婦人会は「行ってみよう」「やってみよう」「創ってみよう」研修会などいろいろ行なっていくたいと思えます。

会員の皆様にご意見を伺うため、話し合いの中から独自の活動を作り上げ、新しい婦人会を目ざして行こうと思っております。少人数となりましたが、すでに6人の新会員を迎えスタートしました。婦人会員として町内会の諸行事にお手伝い出来る方、又、これからの婦人会に興味のある若い方を募集しております。お電話下さい。二六一一五八八一 中村まで

生実町子ども会

会長 稲留 努

町内会会員の皆様はじめ、町会役員、百寿会の皆様ならびに諸団体の皆様には、常日頃から「子供は、地域の宝」をモットーに子供

達の安全を見守っていただき、心より御礼申し上げます。

又、年4回行われております廃品回収にも、多大なるご協力を頂き、重ねて御礼申し上げます。

子ども会の年間行事としましては町内会ならびに諸団体の催しをはじめ、東小学校区子ども会の各行事に参加協力させていただいております。

具体的な行事としましては、1月は、餅つき大会。3月は、歩け大会。6月は、町内運動会。8月は盆踊りならびに球技大会。10月は子ども神輿。11月は、火災予防子どもパトロール。12月は、クリスマス会。その他、年間を通じての公園清掃(生実池公園・生浜公園)等の活動を行っております。

地域の皆様方が、いつも心温かく慈しみ見守って頂いている御恩に報いる為にも、我々子供を持つ親として子ども会活動を通じて、明日の生実町を背負って起つ子供を育成できればと考えております。

残念なことには、生実町も他の地域と同様に子ども会への加入率が年々減少傾向にあります。今後の地域の発展の為にも、ふるってご加入いただけます様ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。入会連絡先 稲留 二六三三七五三三

百寿会

会長 今関行雄

桜前線も北上し、さわやかな風が漂う昨今となりましたが、町内会員の皆様方におかれましては、ご壮健の事と拝察申し上げます。

今回、会長を引き継ぐ事になりました。町内の皆様には、これから百寿会に対し、今までと変らずのご支援とご協力をお願い致します。現在、会員は百十五人在籍しておりますが、人と人との和（輪）を大切に、健康で楽しくをテーマに、個人の持っている趣味を大切に、それを生かせる活動を考えていきます。又町内の活動にも前向きに参加させて頂きま



す。老人クラブ会員憲章のごとく役立つ老人を目指します。会員の皆さんが、百寿会に入って本当に良かったと言えるような数々のすばらしい思い出を皆さんと作っていきます。

最後になりますが、以前百寿会が申し込んでおいた、市長の出前講座テーマ「市民主体のまちづくり」が5月9日生実町会館で行われ、町内会長をはじめ多数の参加者により意見交換が行われ、有意義な講座となりました。

防災会

会長 鈴木俊光

東日本大震災から、1年2ヶ月余りが過ぎました。震災、災害は、いつ何時襲って来るかわかりません。平日の昼間などは、お年寄り、病気がちの人、子供達など大勢います。普段から、避難場所や家族の連絡手段など、確認しておきましょう。その為には、お隣り、御近所との連携が、必要不可欠です。又普段から2、3日分の食料や水、非常持出品などを用意しておくなど、いざと言う時に備えておきましょう。今年一年間、御協力宜しくお願い致します。



～平成24年3月11日防災避難訓練～



消防団

部長 仲居一彦

町内会会員の皆様方には日頃より消防団活動に多大なるご理解、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

現在私共消防団は、13名体制で、災害時における、消火活動や避難誘導が、迅速かつ的確に行える様、

日々訓練に励んでおります。関東近辺の震災が、懸念されておりますが、生実町の安心、安全の為、より一層の訓練を重ねていく所存で御座いますので、今後とも消防団に変わらぬご指導、ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

女性消防団

部長 長谷川 久子

新年度を迎え、それぞれの、新たな出発を祝うかの様に、生実池の桜が、きれいに咲き誇っております。

町内会の皆様には、日頃より、消防に対するご理解と、ご協力を頂きまして、感謝申し上げます。結成十二年目を迎えました、私達生実町女性消防団も、微力ではありますが、町内会の行事に参加し、皆様の、お役に立てる様に、活動していきたいと思っております。今年度も、よろしくお願い致します。



生浜小学校児童下校時見守る
生実町パトロール隊

お知らせ

千葉市消防団消防操法大会

平成24年6月17日(日)午前8時より千葉市役所駐車場にて、我が生実町消防団が、今回7連覇を目指して出場します。

町民の皆様のご来場・ご声援を宜しくお願い致します。

★生実町内会費について★

- *町内会費は1ヶ月400円です。
- *集金は前期(5月頃)、後期(10月頃)の2回となりますので、ご協力お願いいたします。
- 前期 ①町内会費 2400円(6ヶ月分)
②社会福祉協議会会費 1口、200円
- 後期 ①町内会費 2400円(6ヶ月分)
②消防協力費 500円

六面クロム

水質検査のお知らせ

日時 7月8日(日曜日)

午前8時～10時

場所 生実町会館、社務所

詳細は回覧板にてお知らせいたしますが、時間等お間違えのないようにご協力お願いいたします。

千葉市スポーツ推進委員

地区理事 中村 勇

町内の皆様には、日頃より社体活動にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、24年度から社会体育指導員の呼び名が変わりました。新しい名称は、「千葉市スポーツ推進委員」です。ここで生実町の委員を紹介致します。市スポーツ推進委員は中村勇、秋元かつ子、地区スポーツ委員は福秀蔵、加藤崇雄、田鎖かづ子、川嶋祥生、吉野和夫、山中賢治以上8名です。

地区住民の健康と体力増進のために、また町内諸行事等々を各諸団体と一丸となって、明るく、安心安全に暮せる地域作りにと、委員一同積極的に参加し頑張りますので宜しくお願い致します。

生実神社

総代代表 秋元利夫

町内の皆様方には、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は、当生実神社に対しましては、格段のご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

生実神社の創建は、定かではありませんが（一五三八（天文8年）に南小弓城が廃城となり、新たに北小弓城築城の時千葉氏一族の原清胤が創建されたと思われる。祭神は宗道天皇を始め7柱が祀られており、これらの神々は不幸にして冤罪によって処刑或いは島流しにあった神々と言われている（明治以前は御霊神社）原一族は、手厚く保護、守り神として参りましたが一五九〇年（大正18

年）豊臣・徳川連合軍が小田原攻が始まり、生実城主原胤栄は小田原方に参戦し敗れて以来生実町は徳川領地となり代官の管理する所となり、西郷、高室、八木の3代の代官で約30数年間統治しその後寛永4年（一六二四年）森川重俊公が一万石の大名で生実に入り以後二四〇年間生実神社を守護とし、祀手厚く保護され又現在の社殿は、4代藩主森川俊胤公が宝永4年（一七〇七）に造営された物で森川家は幕府の神社奉行を数代に渡り務めた関係もあり、社殿の彫刻は幕府お抱えの彫刻師によるものと残されております。

明治5年以降は、生実町三〇五戸の鎮守となり現在に到っておりますが、特に10月の大祭では祭礼前夜湯立式と称し、大釜で湯煮立てし竹笹でお払いし無病息災を祈願し特に笹の葉で目を洗うと良いとされております。又一説には古代の裁判では大釜で湯をたぎ判定をしたと言われており、先に述べた冤罪と関係があるのではと思ひます。

祭礼当日は、例年奉納の演劇が上演されますがその昔は城内での冤罪の神々を慰める為に能が奉納されたと思われ、明治以降は生実町の若い衆が歌舞伎奉納、戦後は青年団演劇を奉納し、現在に到っております。

又、昭和40年頃は高度成長期で生実町にも人口が増え一五〇〇戸を越える戸数となり子供たちも七〇〇名を越える勢いでした。多くの子供たちが自分の郷里であり氏守である事をしっかりと

持つて頂く為に子供御輿を導入し祭礼当日には、神社の神々と共に生実地内を回って頂いております。

その為、例年組長さん方に子供たちを事故から守る為に1日ご苦労を頂きます事を大変有難く厚くお礼申し上げます。

神社の成り立ちは先の通りですが、昭和40年頃より、元旦の初詣にも多くの方々にお参りして頂く様になり、本年も3が日では二〇〇〇人以上の方々に参拝して頂きました。

今後とも多くの方々のお参りを総代一同お待ち申し上げますと共に生実神社にたいし一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

生実神社の年間行事は別記の通りです。宜しくお願い申し上げます。

民生委員

代表 秋元禮子

要援護者の日常支援に向けて

社協の「地域支え合い事業」で、3月11日、組長さんを中心にした避難訓練をしました。回覧板が機能した伝達法や隣近所の人の団結のすばらしさは、高齢化の進む生実町の今後に大きな力を見出しました。

民生委員としては「災害時要援護者の支援」のための調査と同意書の回収の担当、日常の支援活動について話し合いました。

新聞やテレビで報道されている「高齢者一人世帯」の病氣と生活苦、孤立死等は、生実町内においても大きな課題です。5、6月の調査を基に近隣の住民の皆様にご

協力をいただき、日常の支援活動を助めていきたいと思ひます。ご協力のほどよろしくお願い致します。

生実商工業会

4月18日第38回生実商工業会チャリティゴルフコンペが盛大に開催されました。優勝はクリタメシテナンスの栗田忠さんでした。

今回のチャリティ基金は、参加者の好意により、生実町備蓄倉庫内備品購入資金として寄付されました。

次回は10月の予定です。皆様の参加をお待ちしております。



平成24年度町内合同会議（総会）終る

去る4月21日（土）24年度組長、町内会役員、諸団体役員による総会が開催され、議長に選ばれた久保浩司氏（15番3組組長）の明快且つ敏速な進行のもとに、平成24年度予算審議、各部の年間行事、会計監査の3名が選出されました。

会計監査

6番2組 組長 林田 政和氏
14番4組 組長 大井 久男氏
21番組 組長 今井 吉彦氏

の皆様が選出されましたのでよろしくお願い致します。尚、組長さんにおかれましては、町会活動の窓口としてこの一年、何かとご苦労おかけすると思ひますが、ご協力の程よろしくお願い致します。

編集後記

今年の冬は例年になく寒い日が続く、生実町でも雪が降り積もり、また北国では積雪による被害が連日報道されていきました。そんな寒い日々もようやく終わり、四月に入ると暖かな日が続く生実町小学校の入学式では、まるでこの日に合わせたかのような満開の桜がピカピカの一年生を迎えてくれました。

どんなに厳しい寒さの冬であっても、春は必ずやって来るのですね・・・

そして新年度がスタートしました。今年度も町民のみなさんと共に頑張っていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願い致します。

（総務）